

2010・7～2011・6

クラブ活動計画



地域を育み、大陸をつなぐ

1. 会長エレクト部門 担当 葛原 隆 男

① 職業分類委員会

委員長 諏訪 豊 蔵

地域社会の職業分類調査を行い、より良いクラブ作りのため資料を整備したい。

② 会員選考委員会

委員長 田 中 清 一

職業分類・拡大増強委員会と連携しながら、ロータリー活動に積極的に参加することが出来る会員候補者を選考し、理事会に推薦したい。

③ 拡大増強委員会

委員長 米内山 正 義

創立45周年を迎えるにあたって、会員20名の大台に増強する為に、職業分類委員会、会員選考委員会、全会員の協力をいただいて、奉仕の理想と義務出席の意義を説明した上で、ロータリー会員として相応しい人を理事会に推薦する。

④ ロータリー情報委員会

委員長 山 本 健 治

1. 会員及び会員候補者への情報
2. RI地区からの情報
3. クラブ協議会が行う情報
4. 広報活動

この為に月毎配布される雑誌からの関連事項の紹介、手続き要覧、定款、細則、ロータリー出版物の提供に留意し、ロータリー精神の認識と理解を深めるよう努力したい。

2. クラブ奉仕部門 担当 千葉 和 夫

① クラブ奉仕委員会

委員長 千葉 和 夫

クラブ奉仕はロータリー活動の根源であり、会長の方針に基づいて、各委員会と協力し、会員相互の理解を深めそれがクラブ活動の活気に繋がり、奉仕活動の活性化に成るよう会長及び各委員会と連絡調整に努めたい。

② 出席委員会

委員長 大 黒 博

ロータリアンの第1の義務は例会の出席であります。会長、幹事の活動方針を把握し出席率の向上に努めます。

1. 出席率80%以上を目指す。
2. 無断欠席の防止
3. メークアップの推進

③ クラブ週報委員会

委員長 大下内 尚

- ①例会毎に週報を発行する。
 - ②各委員会に協力してもらいながら週報を作成する。特にプログラム委員会には毎月の予定表をお願いします。
 - ③雑誌委員会と提携し、ロータリーの友から大事な記事、参考になる記事を選んでもらい週報に再掲する。
 - ④会員の寄稿を歓迎する。
- ※今年度も会長挨拶や会員による卓話等の原稿は、出来るだけ書いて来て下さる様お願いします。

④ 親睦委員会

委員長 千葉 和 夫

会員相互の親睦があつてはじめてクラブ活動、奉仕活動の活性化に成ると思いますので会員の親睦に努めたい。

- 1) 会員の誕生祝い、結婚祝いに記念品を贈る
- 2) 家族親睦会を計画する
- 3) 年に数回の夜間例会を行う
- 4) その他会員の要望により行う

⑤ インターネット委員会

委員長 竹内勝彦

1. クラブ例会予定表を配信する。
2. 色々な機会に様々な情報を配信する。
3. ホームページの充実に努める。

⑥ 雑誌委員会

委員長 高田真一

- ・月間「ロータリーの友」誌に掲載された情報の中から大事なこと、興味深い話題、参考になるような記事を会員に紹介する。
- ・各職場に備え付けておき、一般の方に読んでもらいロータリー活動の理解を深めてもらう。

⑦ プログラム委員会

委員長 松林和子

楽しくかつ有意義な例会となるよう、会長、幹事、親睦委員会と協議しながらプログラムを計画していきたい。

1. 特別強化月間での委員長の卓話
2. 会員卓話とフリートーク
3. ゲスト卓話
4. プログラム予定表の通知

3. 職業奉仕部門 担当 横手幸年

① 職業奉仕委員会

委員長 横手幸年

職業奉仕の基本理念は、職業を通して社会に奉仕することでありロータリークラブの4大奉仕に、位置づけられており我々ロータリアンが、進んで実行する事が重要と考え次の事項を計画します。

- ・地区で開催される会議等に参加し、その内容を例会日に七戸RC会員に報告する。
- ・職業奉仕月間には、職場訪問を企画する。
- ・職業奉仕についての勉強会を企画する。

4. 社会奉仕部門 担当 石 田 修 一

① 社会奉仕委員会

委員長 石 田 修 一

地区として「自分の家庭、職場での地域環境問題についての取り組みについて何をすればよいか」の方針に沿って考えていきたい。

その他、従来どうり青少年団体の育成援助、柏葉公園の清掃等、啓蒙・実践したい。

5. 国際奉仕部門 担当 青 山 晃 淳

① 国際奉仕委員会

委員長 青 山 晃 淳

地区委員長は今年度の計画を、保健飢餓・水等の問題に理解をおいた活動を重点に進めていくと示している。

セミナー研修に参加することにより一層理解を深め、会員にもその内容を伝える機会を設ける。

② ロータリー財団委員会

委員長 葛 原 隆 男

- ・ロータリー財団の目的、趣旨を理解し、更なる活動が出来るように、会員に協力をお願いする。
- ・昨年同様「100ドルの寄付」を引き続き継続する。。

③ 米山奨学金委員会

委員長 中 野 吉 太 郎

米山奨学事業の歴史・目的および意義・現況などを会員に理解してもらい、普通寄付の増額、特別寄付の奨励に努める。

6. 会場監督部門 担当 石 井 淳 夫

③ 会場監督委員会

委員長 石 井 淳 夫

- ・前年度に引き続き、例会が秩序正しく行われるよう心がける。
- ・食後の例会再会までの時間も同じく、密度の濃い例会にするため引き続き、一服時間の短縮を図りたい。（特にゲストスピーカーがある場合）
- ・ロータリーソングのさらなる普及に努力し、いま少しレパートリーを増やすよう努める。特に苦手な「ROTARY」の歌詞は完全に暗唱してもらえるよう努力したい。